| 学校番号 | 3026 |
|---|---|

# 令和8年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 化学 | 単位数 | 3単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 化学 Vol.1 理論編、化学 Vol.2 物質編（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 『セミナー化学基礎+化学』（第一学習社） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科学的な思考、態度を養うとともに、以下に留意しながら進めていきます。
-実験レポート等での PC の活用、特にデータ分析、提示方法について表計算ソフトを有効に利用する。
-必要に応じて、化学基礎での既習範囲にも触れながら、基礎基本の定着を図る。
-問題演習を多めに取り入れる。

2　学習の到達目標

以下について理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて考察できようになる。

1. 化学的な事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2. 化学的な事物・現象を観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
3. 日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。 | 化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わることで，科学的に探究しようとする姿勢・態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 有機化合物 | 炭化水素 | a.脂肪族炭化水素の性質や構造についての実験などを通して，炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。<br>b.脂肪族炭化水素の性質や構造について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。<br>c.脂肪族炭化水素の性質や構造について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 | ワークシート<br>小テスト | ノート、観察・実験、 | 探究活動、観察・実験 |
| | | アルコール | a.官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応についての実験などを通して，官能基の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。<br>b.官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。<br>c.官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ノート<br>観察・実験<br>定期考査 | 探究活動<br>観察・実験 |
| 2 | 有機化合物 | 芳香族化合物 | a.芳香族化合物の構造，性質についての実験などを通して，芳香族化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。<br>b.芳香族化合物の構造，性質について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。<br>c.芳香族化合物の構造，性質について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 | ワークシート<br>小テスト | ノート<br>観察・実験 | 探究活動<br>観察・実験 |
| | | 高分子化合物 | a.合成高分子化合物と天然高分子化合物の性質や構造についての実験などを通して，各高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。<br>b.合成高分子化合物と天然高分子化合物の性質や構造について，問題を見いだし見通しをもって実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。<br>c.合成高分子化合物と天然高分子化合物の性質や構造について主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ノート<br>観察・実験<br>定期考査 | 探究活動<br>観察・実験 |
| 3 | | 化学が果たす役割 | a.ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用に関する実験を通して、これらの概念や原理・原則などを理解しているとともに，物質の工業的製法に関する理解を通じて、社会との関わり方や意見交換をし、発表する技術を身につけている。<br>b. ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用に関する実験を通して、これらの概念や原理・原則を化学的に考察し表現でき，物質の工業的製法に関する理解を通じて、社会との関わり方や意見交換をし、発表する技術を科学的に探究している。<br>c. ハロゲンの性質と酸化還元反応の応用に関する実験に主体的に関わり、物質の工業的製法に関する理解を通じて、見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ノート<br>観察・実験<br>定期考査 | 探究活動<br>観察・実験 |

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度